

かほく ワークシート

リニア中央新幹線の時速500^{キロ}を表示する新型車両L0系の
車内モニター＝13日午前、山梨県笛吹市一上野原市間



時速500^{キロ}の世界に歓声 JR東海、リニア試乗会

2027年のリニア中央新幹線開業を目指すJR東海は13日、山梨県の実験センターでリニア新型車両の一般向けの試乗会を初めて開いた。抽選に当たった約100人が最高時速500^{キロ}の世界を一足早く体験、車内に歓声が上がった。

総延長42.8^{キロ}の実験線（同県笛吹市一上野原市）を行き来して約30分間走行。

乗客は新設の発券機で搭乗券を受け取り、2次元コードを読み取る改札を通して新型車両L0系に乗り込んだ。走行中、時速が500^{キロ}に達すると車内は歓声と拍手に包まれ、時速表示のモニターを記念撮影していた。

北海道恵庭市のパート村留美子さん(60)は「まるで飛行

機の搭乗手続きみたいで、次世代の乗り物という感じがした」と驚いていた。

友人らと4人で参加した長野県岡谷市の会社員宮坂要平さん(60)は「浮上しているときはタイヤ走行と感覚が全く違って静か。素晴らしかった。あつという間だったのでまた乗りたい」と感動した様子だった。

JR東海によると、新型車両は昨年8月に導入され、営業運転を想定した試験走行で乗り心地などを確認している。試乗会は11～12月に計8日間行われ、全国の約11万8000人から選ばれた約2400人が乗車。来春にも試乗を予定しており、今後希望者を募集する。

①リニア中央新幹線は、何年に開業予定ですか。

②リニアモーターカーは、「浮上している(走る)」とありますが、何によって「浮上する」のだと思いますか。

③リニア中央新幹線は、東京―名古屋を40分で結び、2045年には東京―大阪を最短67分で結ぶ予定です。その経済効果にも期待が高まっています。どのような経済効果があると考えますか。

(2014年11月14日河北新報刊)

年 組 名 前

(小学校高学年～中学生／朝の会前10～15分)